



## 存在自体がネタ・目の当たり

▼11月26日（月） ●●（マジキチ）

### 1 数学 演習

\*サクシード×15 一つだけサクラコ

### 2～3 体育 女子フットサル 男子バレー

\*たのしい11 けどボールけったらくつぬげた。

### 4～5 英語

\*最近休み時間とってくれてうれしい。K早先生は日比谷のお母さんです。（お父さんは保戸塚先生♡）

### 6 現文

\*みんな勉強してる、ビビる。焦。

### 7 地学

\*むずかしいけど楽しい。地学好き。古典の次くらいに好き。

今日、フットサルをやったときに、ボールをけった拍子にくつがとんでいきました。くつがゆるいんですかね←そういうことしておきます。ちなみにそのくつは、A山さんにもてあそばれてなかなか返ってきませんでした。ですから、片足くつ下で、そのままゲームをしていたことになります。存在自体がネタだといわれました。褒めことばと受けとるときです。あ、現国おわりそう。自習の時間をつかって日誌読み返しちゃった。おもしろかった～！

☆シリトリ：バルス！（ムスカ大佐）→ すっぴん

（担任）「褒め」なんて難しい漢字を知っている割には全体に占める漢字の割合が低すぎますね。もっと漢字を使いませう！（父より）

ところで、昨日のWeの引用、省略できずに長くなってしまったが、読んでみて「すごい人だなあ…」という印象をもった人が多いに違いない。

その西水さんの話だが、私は「ひどい経済政策がもたらす激しい貧富の差を目の当たりにして」という一節が印象に残った。彼女は「目の当たりにする」ことで、自分の生きる道を見つけたわけだ。もちろん、目の当たりにしても何もしない人もいるだろう。でも、彼女は違った。目の当たりして、それを変えようとしたのである。いや、むしろ自分を変えようとしたのかも知れない。そこが素晴らしいと私は思うのである。

前にも書いたが、「自分を変える」ということに臆病になってはいけないと思う。君たちのように、これから未来を考えようとする人たちは、特にそうだ。

今、「変える」と書いたが、「変わる」でももちろん構わない。「ついつい好きなことをやっていたら、それにのめり込んでいた、自分って、変わるもんだなあ…」でもイイのである。とにかく、「自分は●●だから…」という思い込みは捨てて、素直に自分と向き合ってみることが大切だろう。

で、その際ヒントになるのが、「目の当たりにする」ということなのである。急に話が日比谷的（笑）になるが、SSHとか、オープンキャンパスとか、展覧会とか、ぜひ色々なことに積極的参加して、「目の当たりにする」機会を増やしてほしいものである。